

## 平成24年度 2月 経営の重点

【通うだけで楽しくてしかたがない、通うだけで助け合う力が育つ「伝説の学校」をつくろう！】

- 学校教育目標・・・「自主貢献」－自主的に行動し、助け合える生徒の育成－
- 目指す生徒像・・・的確に判断できる生徒、自主的に行動できる生徒、助け合いができる生徒
- 目指す教師像・・・一番好きになる教師、気持ちがわかる教師、学び続ける教師
- 3つの重点目標・・・プライド（12の実践）、学力向上（校内研究）、郷土愛（家庭・地域との連携）

1月の経営の重点は「拘り」と「小さな徹底」でした。

- 行動可能な改善策の明示…自分たちが取り組んでいることを掲示できているでしょうか？学年、学級の生徒に「今取り組んでいるのは何？」と問うて答えられでしょうか？
- 毎日の評価の継続…取り組んでいることを評価しているでしょうか？

### （2月の経営の重点） 「変化」と「感動」

「これまでと違う何か、今までと違う自分、変わるための一歩を踏み出す勇氣」を作ろう！

生徒が変わる（成長する）ために最も必要なことは、私たち自身が変わることです。私たちが変わろうとしている生徒を見て感動することです。劇的な変化ではなく、小さな変化を見つけることです。せっかく変わろうとしているのに誰にも認められないのは悲しいものです。「どうせ俺なんかにできるわけない！」というメンタルブロックが起るのです。マイナス5だったのがマイナス2になったとき、現状はマイナスでも少しの伸びを認められる教師集団でありたいのです。逆にプラス10だったのがプラス8になったとき、生徒と一緒に悲しんだり、悔しがったりできる職員集団でありたいのです。

今月は、「変わろう」として取り組んだことに対し、Iメッセージ（愛メッセージ）をどれだけ与えられるか、「感動」することができるかが重点です。すべての教育活動において、「変化」を「感動」で表現していきたいと思えます。

#### ○場の設定…小さな変化をつくるための場を設定しよう！

班活動改善のために、学級の思い出づくりのために、個々の生活向上のために、部活動を活性化するために、授業を改善するために、写本をより高めるために、それぞれの立場でどう変化する場をつくり、それを認めていくかがカギです！これまで多くの取り組みが為されてきたと思えます。一年間の終末期を迎え、成果として実感できるような場の設定を行っていききたいと思います。

「成功」の反対は「何もしない」です！やろうとしてうまくいかないのはいくらでも改善できますが、問題意識もなく、何もしないというのは、次に進む一歩ができません。動けないということです。「昨年度と同様」ではなく、現状を見つめながら4月に描いた湖北中学校の姿に向けて一歩でも二歩でも近づくための場を設定して欲しいのです。

#### ○チーム承認…自分で変わろうとする人をみんなで認めよう！みんなで誉めよう！

今まで落ち着いて授業に取り組まなかった生徒が、自分の席を離れず、ノートを取り、普通に学習しようとする姿が見られたら。→「うれしいねー、君が頑張っている姿を見るとこっちまでうれしくなるね！」

「何かいいことありそう！うきうきしてきた！君の姿に感謝だね！」

「すごいなー！本当に頑張っているね！俺も頑張ろうっと！」

「お前の頑張りにはいつも感謝しているよ！ありがとう！」

いろいろなフレーズがありますが、自分なりの誉め言葉、キャッチフレーズを作りましょう！そして、周囲と連携して一人一人の「変化」を確実に認めながら、「感動のフィナーレ」につなげていきましょう！

< 卒業式まで 後〇〇日 >